



最後の一枚の葉（16）

原題：The Last Leaf

そこには草もなく、わびしい庭が見えるだけで、煉瓦の家の何も無い壁は二十フィートも向こうなのです。根元が節だらけで腐りかかっている、とても、とても古いつたがその煉瓦の壁の中ほどまで這っていました。冷たい秋の風は、つたの葉に吹き付けて、もう裸同然となった枝は崩れかかった煉瓦にしがみついているのでした。



最後の一枚の葉（17）

原題：The Last Leaf

「なあに？」スーは尋ねました。
「ろく」とジョンジーはささやく
ような声で言いました。「早く落
ちてくるようになったわ。三日前
は百枚くらいあったのよ。数えて
いると頭が痛くなるほどだったわ。
でもいまは簡単。ほらまた一枚。
もう残っているのは五枚だけね」
「何が五枚なの？スーちゃんに教
えてちょうだい」

最後の一枚の葉 (18)

原題：The Last Leaf

「葉っぱよ。つたの葉っぱ。最後の一枚が散るとき、わたしも一緒に行くのよ。三日前からわかっていたの。お医者さんは教えてくれなかったの？」

「まあ、そんな馬鹿な話は聞いたことがないわよ」スーはとんでもないと文句を言いました。「古いつたの葉っぱと、あなたが元気になるのと、どんな関係があるって



最後の一枚の葉 (19)

いうの？あなたは、あのつたをと
ても大好きだったじゃない、おば
かさん。そんなしょうもないこと
言わないでちょうだい。あのね、
お医者さんは今朝、あなたがすぐ
によくなる見込みは — えっと、
お医者さんが言ったとおりの言葉
で言えば — 「一に十だ」って言う
のよ。それって、ニューヨークで
電車に乗るとか、建設中のビルの



最後の一枚の葉 (20)

そばを通るぐらいしか危なくない
ってことよ。ほらほら、スープを
少し飲んで。そしてこのスーちゃん
をスケッチに戻らせてね。もし
たらスーちゃんは編集者にスケッ
チを売ってね、病気のベビーには
ポートワインを買ってね、はらぺ
この自分にはポークチョップを買
えるでしょ」

つづく